

一般質問



小中学校のプール授業について



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

問 プール授業に欠かせない管理について

答 大きく分けてプールの施設管理と児童生徒の管理があります。シーズン前の掃除、濾過機械や設備の安全点検、年に1度業者に委託し機械設備の点検。シーズン中においては用具が正しく使用できるか、排水溝の蓋やネジが外れていないか等設備の安全点検に加え水位、水質の調査や薬剤の投入などの作業を毎日行います。

問 プール授業に欠かせない管理について

答 大きく分けてプールの施設管理と児童生徒の管理があります。シーズン前の掃除、濾過機械や設備の安全点検、年に1度業者に委託し機械設備の点検。シーズン中においては用具が正しく使用できるか、排水溝の蓋やネジが外れていないか等設備の安全点検に加え水位、水質の調査や薬剤の投入などの作業を毎日行います。

問 プール施設費用と年間維持管理費

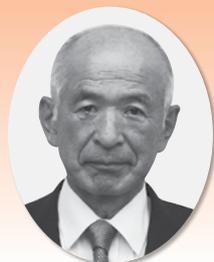
答 平成26年水戸小で、小プール再建築・1億6,000万円、平成30年甲西中で大プールのみ1億3,500万円の費用。経常的な経費、水道代、消毒剤等の消耗品代、水質検査委託や機械設備の保守委託費で700万円、軽微な修繕費含めて年間270万円、合計970万円。

問 年間利用日数と利用時間について

答 6月下旬から7月下旬の約30日間小学校1学年1校45時間。中学校1校あたり24時間の利用となります。

問 民間委託について

答 民間施設の利用につきまして、その可能性について模索しているところがございます。



河川整備について



会派 きずな ● 望月 卓 議員

問 野洲川の国管理と県管理区域の整備基準の違いについて

答 同じ1級河川は、管理者の違いから、整備基準が異なるべきでないと考えています。が、現実、石部頭首工より下流の国管理区域は、判断基準100年確率での整備です。その上流の滋賀県管理区域は、「滋賀県の河川整備方針」で、目標値を100年確率と掲げているが、段階的整備手法により、30年確率相当で整備を現在、進めています。

問 荒川、家棟川、大山川等を含め、県管理下の河川整備について。

答 現在県の方で、野洲川の石部大橋から中郡橋の左岸の護岸築堤

工事や、中郡橋と甲西大橋間の河道拡幅に係る詳細設計等、進行中です。浚渫面・伐採については、由良谷川の隧道から、家棟川合流点、及び下流の伐採は、今年度中の着手予定です。

荒川の勅使野橋下流右岸の護岸改修は、本年6月工事完了し、その下流200m程の浚渫工事は、来年度の水期迄の工事予定、宮川の浚渫工事も11月以降に計画されています。

落合川、広野川、茶釜川、祖父川については、今年度すでに、伐採や浚渫工事を完了しています。これら、市内にある県管理下の1級河川の安全確保へ、渇水期に滋賀県と「河川の合同パトロール」を年1回実施しています。